

大西 雅子 議員

公明党



坂本 三郎 議員

市民の会第二



衛生 野良猫を減らす対策

議員 野良猫対策として、地域猫の取組みや、不妊手術に対する補助金の実施はできないか。今後増やさない対策として、飼い猫に対する飼い主へのマナー向上対策を強化できないか。

市 効果的施策の研究と飼い主への啓発を進める
他市の地域猫対策による成果や不妊手術の補助金制度による費用対効果などを見ながら、効果的な施策の研究を行う。また飼い主に対して広報紙や自治会回覧等を通し、室内飼育や名札の装着などの啓発を進める。(菟原経済環境部長)

他の質問 生活習慣改善の取組み、食育推進の取組み

中田 初美 議員

日本共産党



子育て 早期に放課後児童クラブの時間延長を！

議員 放課後児童クラブの午後7時までの時間延長は、大阪や神戸等遠距離通勤の保護者にとっては切実な問題で、何度となく議会で求めてきたが、経費面等を理由に実施困難として進んでいない。しかし、指導員の条件付き処遇改善補助が国でも進められる中、ニーズに応え、早急に時間延長を行うべきでは。

市 実施に向け協議を進めたい
保護者の就労支援や保育所開所時間の観点等を踏まえ来年4月導入に向け、協議等進めていきたい。(市長、本田健康福祉部長)

他の質問 交通対策及び交通弱者対策、スマートフォンなどインターネット利用のルール作り、学校図書館専任司書の配置

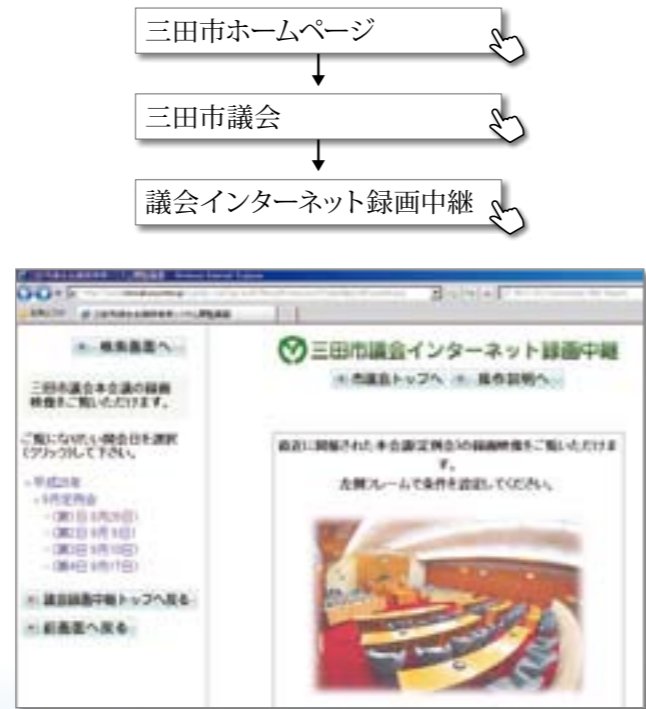
防災 二次災害防止に市の対応は

議員 大雨等による被害が頻発する中、これらの二次災害防止対策や応急的な土砂撤去等は全て土地所有者の責任とされているが、行政として何らかの手だてをすべきである。

市 被災者の立場に立って可能な限り対応
被災者の立場に立って対策しなければならないと承知している。可能な限り対応しながら、国の補助金等が受けられないか検討している。(市長) 県でも生活支援策制度新設の動きが見られることから、他市の状況も注視しながら、支援の方法を調査研究したい。(中畑理事)

他の質問 小中学校の施設・設備の整備

本会議の内容を動画でご覧いただけます。



平成25年度決算 市議会が審査・認定



議長を除く全議員が委員を務める予算決算常任委員会で市の予算が適正に使われたかどうかを詳細に審査します。

25年度決算については、9月24日～26日に企画総務・福祉文教・まちづくりの各分科会で個別審査を、29日の全体会で総括質疑を行い、30日に表決しました。

最終的に決算を認める(認定)か、認めないか(不認定)は10月の臨時議会で決定しました。

分科会審査

3つの常任委員会の所管(2~3ページを参照)に準じる各分科会ごとに、歳入・歳出の全決算項目について審査

企画総務常任委員会

- 市税の収納状況において、積極的な滞納整理を実施し、不能欠損額は24年度から大きく増えている。引き続き収納率向上のため精力的に取り組みをすすめられたい。
- 北摂三田ニュータウン施設整備管理基金の残高は平成30年度前後にはゼロとなる見込みであることから、その後を見据えた整備の考え方を整理し、適正な基金の運用管理に努められたい。
- 災害時の情報をいち早く市民に伝達するために、市のホームページのトップページに緊急情報の表示を検討されたい。 など

福祉文教常任委員会

- 認知症地域支援推進員の配置が地域包括支援センターに1人だけであることから、国の認知症対策5カ年計画を前倒しするなど認知症支援体制の強化に努められたい。
- 市の行っている自殺対策について、市の窓口に深刻な事案をかかえた市民が来庁した場合に、しっかりサポートできる体制の充実に努められたい。
- トライやるウィークの実施にあたり、子どもたちが行きたい事業所を自ら選びお願いするといった方法の検討をすすめられたい。 など

まちづくり常任委員会

- 地籍調査は市民からの期待が非常に大きい事業であることから、道路整備に関しても調査を行うなど、より広範囲で積極的な事業推進に努められたい。
- 本市の代表的な特産品の一つである三田牛のPR強化を図るため、メディアを最大限に活用した効果的な取り組みをしっかりとすすめられたい。
- 近年市道における道路賠償事案が数多くあるが、市のパトロールだけでは対応が難しいことから、市民からの通報システムをとり入れ、事故の未然防止に万全を期すよう努められたい。 など

全体会(総括質疑) 委員が属する7つの会派別に、全ての決算に関して質疑・要望し、答弁を求める。

- 職員の接遇力向上に努められたい。
- 太陽光発電用パネルを傾斜地に設置している業者に対する指導が必要ではないか。
- 乳幼児健診の未受診者への対応をしっかりと確認して取り組まれたい。
- 学力向上には家庭教育も大事である。支援員の増員を検討されたい。
- 危険ドラッグについて学校現場で啓発に努められたい。
- 妊婦健診の助成額について現行7万円を8万円に引き上げるよう検討されたい。
- AEDの幼稚園への配備が2か所のみであるので、これを全幼稚園へ拡大されたい。 など

委員会での表決

平成25年度決算案件10件は、予算決算常任委員会で審査し、議員からの反対意見が表明された後に一般会計決算など1件が賛成多数で、その他の9件については全員一致で認定と表決されました。

10月臨時会で採決

平成25年度決算案件10件について議員からの反対・賛成討論があり、結果は、予算決算常任委員会の表決結果と同様に、一般会計決算など1件が賛成多数で、その他の9件が全員一致で認定されました。

反対討論

- 行革が進められる中、高齢者医療助成では、本人の非課税に限定し、所得80万円以下に対象者を縮小するなど、いくつかの点で弱者切り捨てと負担増を押し付けている。
- 市内経済雇用動向調査を実施し、一定の対策をとるも、市内経済に十分な効果は出ていない。
- 職員定数の削減、利益優先の民間業者による指定管理者制度導入を促進するなど市民意見を軽視する強権行政が進められた。(日本共産党 長尾明憲)

賛成討論

- 市民生活の安全・安心を重視した施策が積極的に展開され、子育て支援、教育、健康づくり等の諸事業の充実、三田駅前Bブロック地区再開発整備など、所期の目的を達成されている。
- 老人医療助成については低所得者に対して制度維持に一定配慮された形で見直しされた。
- 市立図書館の指定管理者制度導入については開館日と開館時間の拡大など、行政では実現できなかったサービスの充実を実現した。(草莽の会 森本政直)